第20回 庁舎建設検討委員会　資料

令和３年１月28日　地域戦略室

現庁舎に耐震性が無く老朽化が著しいため災害対策拠点づくり等を目指し、検討委員会で議論を重ね新庁舎建設計画を進めてきました。検討委員会は平成25年度から令和元年度までに計18回実施し、その間、建設予定地をくすのきホール周辺から現庁舎敷地への変更等を経て、令和２年３月31日に実施設計がほぼ完成していました。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、新庁舎建設計画を取り巻く状況が一変しました。⇒　これまでの計画の再検討をおこない、検討した案を作成

経過

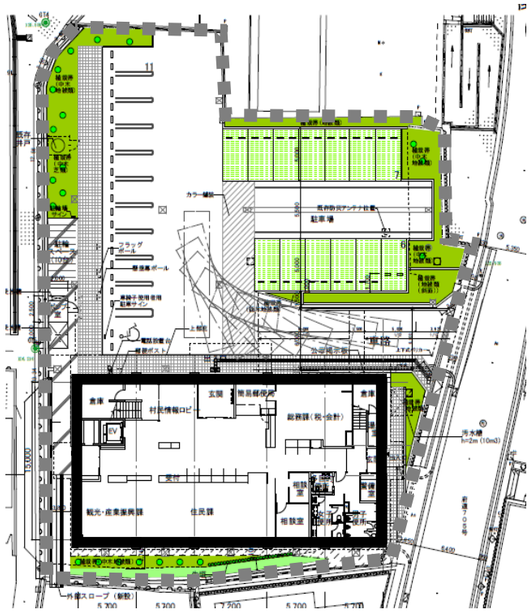
これまで18回にわたり以下のとおり庁舎建設検討委員会を開催

【建設候補地の検討】
第１回～第８回　**くすのきホール周辺に決定**

【建設候補地の見直し】
第９回～第11回　**現庁舎敷地に決定**

【現庁舎敷地での詳細設計】
第12回～第18回　**新庁舎のプランが決定**

現計画



条件

①仮移転なし　　②工期を短く
③**コンパクト**な庁舎
④トータル事業費は**10億円以内**
⑤建設場所は**現庁舎敷地内**

設計概要

■新庁舎の建設（現駐車場位置）
⇒　引っ越し　⇒　現庁舎の撤去
⇒　駐車場の整備

■規模・構造
鉄筋コンクリート造、３階建て、
床面積1,459㎡

■村内の民家の構成要素を組み込む
等した外観計画

■R2年夏頃着工 ～ R3年３月頃竣工

■進入路の移設

社会の変化

『新型コロナウイルスの世界的な感染拡大』

1．現計画の執務スペースが「密」状態であること
2．新型コロナウイルスによる財政への影響
3．その他（新過疎法の動向、ロープウェイ問題による財源）

第19回検討委員会　新庁舎建設計画の**再検討**を提案

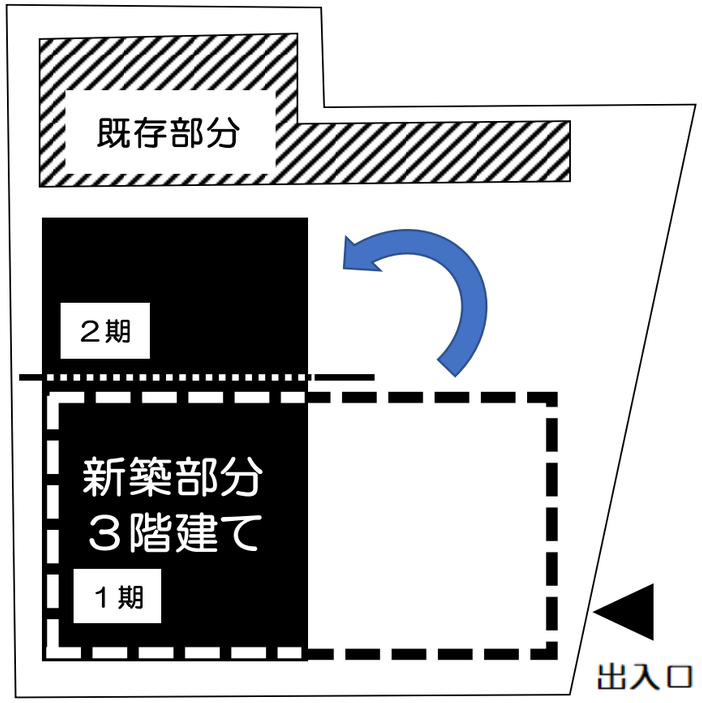
基本スタンス

新型コロナウイルスや今後起こり得る感染症等にも対応できるよう改善が必要

・トータル事業費は**10億円**以内
・新庁舎建設場所は**現庁舎敷地内**

＋ プラス ・**新しい生活様式**

案



条件

①一人当たりの**執務スペースを増加**させる

②増加が予想されるトータル事業費を**10億円以内**にする

③建設場所は**現庁舎敷地内**

検討案

◈既存庁舎の**一部利用**

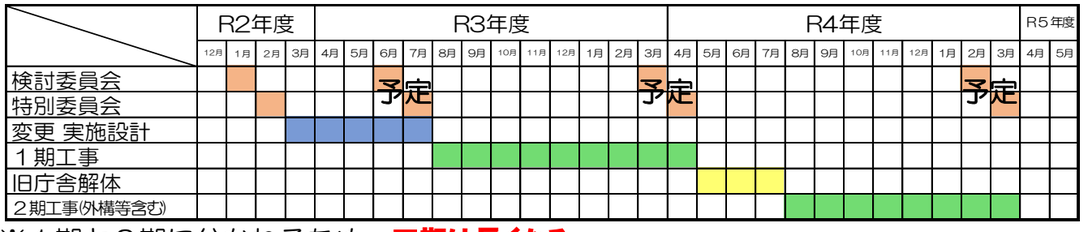
◈新築部分の**配置**を東西軸から**南北軸**に変更

◈**配置変更による減額**及び**仕様見直し**

◈配置変更に伴う**進入路の変更**

◈その他

スケジュール（予定）



※１期と２期に分かれるため、**工期は長くなる**